



「青山通り」は、周囲と一体的な景観を形成する道路軸として整備を進めたもので、この通りには明治時代に植えられたクロマツが並木を作っている。

呉市では、旧海軍の建築物や市内の建造物にレンガ造りが多いことから、レンガ色を市のイメージカラーにしており、歩道部をレンガ色のタイルで敷き詰め、要所にフジをイラスト化した赤御影石板をあしらひ、周囲の緑との調和を図った。沿道にはレンガ積み風の藤棚を設け、その下にベンチを配し、通行者や周辺を訪れる人々の憩いのスペースとしている。また、街路灯はガス灯をイメージしたデザインで、正面の時計塔からは小・中学生からの公募によるメロディも流され、落ち着いた風情のある景観とともに、訪れる市民の心をなごませてくれる。

DATA・BOARD 24

- ① 広島県呉市幸町
- ② 延長：約690m、幅員：27m（代表部分）
- ③ 街路灯、藤棚、ベンチほか
- ④ レンガ調タイル、レンガ、赤御影石、レッドウッド、植栽ほか



24

青山通り

どお

● ふるさとを紹介する道